

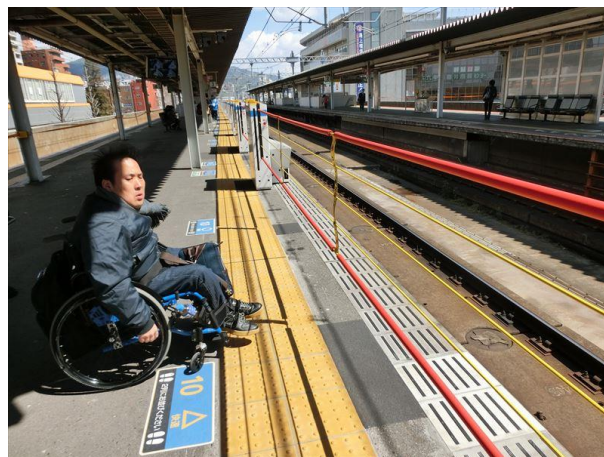
しょうこうしき さく さいぜん さく さく 昇降式ホーム柵は最善の柵(策)！？

にしにほん ろっこうみちえきしょうこうしき さくけんしょう
～JR西日本 六甲道駅昇降式ホーム柵検証～

あお おにバリアフリー調査隊 (チームABC)

2014年12月から2015年3月までJR六甲道駅で昇降式ホーム柵が試験運用されたので、どういうものなのか見学へ行きました。

しょうこうしき さく しょう 昇降式ホーム柵は1か所のホームだけ！ JR六甲道駅



降りたホーム (下りホーム) には昇降式ホーム柵が設置されていなく、上りホーム (3番のりば) にだけ設置されていました。扉の枚数が違う車両にも対応できるので良いと思いましたが、設置されていたホームには4人の警備員さんがいました。

こ しかくしょうがいしゃ あんぜん しょうこうしき さく 子どもや視覚障害者には安全？ 昇降式ホーム柵



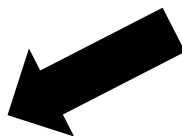
ていしゃ
停車



ホーム柵上がる



ひら
ドア開く



昇降式ホーム柵は、上下に幅が太いロープが1本ずつ、間に細いロープが3本の計5本のロープがあって、電車が入ってきたら5本のロープがまとめて上にあがります。ロープは約1車両分の長さがあります。1番下のロープと地面の差は50センチでした。



昇降式ホーム柵の近くに丸いセンサーがいくつかあって、近づくと「ロープから離れてください。」とアナウンスが流れました。ロープの昇降は車掌さんが列車停止時に手でボタンを押しておこないます。



ロープとロープとの幅が広いし、一番下のロープから地面までの幅も広いので視覚障害者が使っている白杖がホームの外に出たら危ないこと、子どももロープの間から落ちるかもしれないので危ないなど思いました。それと、もし、動物(鳥とか)がセンサーに当たったら反応してしまうのかな？と疑問に思いました。

昇降式ホーム柵を見学へ行った感想

- 転落防止されていないホームより昇降式ホーム柵があった方が良いけど、やっぱり大阪市営地下鉄の千日前線や御堂筋線天王寺駅・心斎橋駅などで設置が始まっている可動式ホーム柵の方が安全だと思いました。
- 昇降式ホーム柵は頼りないように見えた。JRの場合は、車両ごとにドアの数が違うので、昇降式ホーム柵の仕組みで仕方ないと思うが、改善が必要だと思った。電車とホームの段差は何にも対策してなかったけど昇降式ホーム柵を本格的に使用するときには段差のことも対策をしてほしいと思う。

その他のホーム柵事情

(JR西日本で設置された(予定も含む)可動式ホーム柵と昇降式ホーム柵)

可動式ホーム柵設置駅

- ・ 東西線 北新地駅 (2011年3月) ・ JR大阪天満宮駅 (2012年3月)
- ・ 学研都市線 京橋駅 (2016年春予定)
- ※学研都市線・東西線の車両編成は3枚扉から4枚扉に統一。



可動式ホーム柵

昇降式ホーム柵設置駅

- ・ JR神戸線 六甲道駅 (2015年4月) ・ JR京都線 高槻市駅 (2016年春開始予定)

※六甲道駅は2015年3月まで試験運用されていたが、同年4月以降も本格実施された。神戸新聞の利用客約200人に対面式アンケート調査を行った結果によると、約8割が「安全で良くなった」という回答だった。私たち障害者にとって、何も対策がされていないホームは命に関わるので、何らかの対策は必要だと思うが、昇降式ホーム柵より可動式ホーム柵の方がより安全だと思う。

これからも各地のケーブルカーやロープウェーに乗りに行って比較をしたり、いろんな昇降式ホーム柵や可動式ホーム柵の調査をして、どんなホーム柵が最善の柵なのか考えていきたいと思っています。